科目名	経済政策論　　Economic Policy						
科目担当者	山梨 顕友　　YAMANASHI Akitomo						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(1) (4)
授業の概要	どの国でも政府は相当規模の税金を集めて経済へ介入を行っていますが、それが正当化されるのは市場がうまく機能しない「市場の失敗」が存在する局面に限られます。そこで、個別の経済政策がどのような市場の失敗を解決する機能を持つのかを学びます。また、政府の活動は国民への課税により賄われなければなりませんが、どのような課税も市場がもたらす効率的な資源配分を歪めてしまう影響があることを学びます。これらに関連する事柄はさまざまな経済学の分野に偏在しますので、この授業で概観したいと思います。						
授業の到達目標	①　政府が政策を用いて経済に介入する根拠となる市場の失敗について理解できる。 ②　個別の経済政策がどのような市場の失敗を緩和する効果をもたらすのか理解できる。 ③　個別の税制度が市場の効率性にどのような歪みをもたらすのか理解できる。						

授業計画・内容		
	1	経済分析の基礎
	2	独占
	3	外部性
	4	情報非対称
	5	所得格差と再分配
	6	公共財の提供
	7	さまざまな規制
	8	財政政策
	9	金融政策
	10	消費税
	11	所得税
	12	関税
	13	最低賃金と所得補助
	14	政策の国際協調
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	日頃から政府の活動に関心を持ち、それぞれがどのような影響を社会に及ぼしているのか考えてみましょう。（2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	授業で取り上げられたり取り上げられなかったりした論点の中で、関心を抱いた事柄について自分で調べて要点をレポートにまとめてください。（2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 レポート（数回）	60% 40%	②、③ ①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	特になし。
参考文献	レヴィット『ミクロ経済学　基礎編・発展編』東洋経済新報社 井堀利宏『入門マクロ経済学　第 4 版』新世社
その他	この授業での議論の前提である市場メカニズムが望ましい資源配分を実現する性質については、基礎数学Ｉで説明します。そちらを先に受講しておくと理解が深まります。